

# ESG関連トピック紹介\_2024年7月

## サーキュラーエコノミー（循環経済）\_ファッション

2024年7月26日

### 手放された服の行方

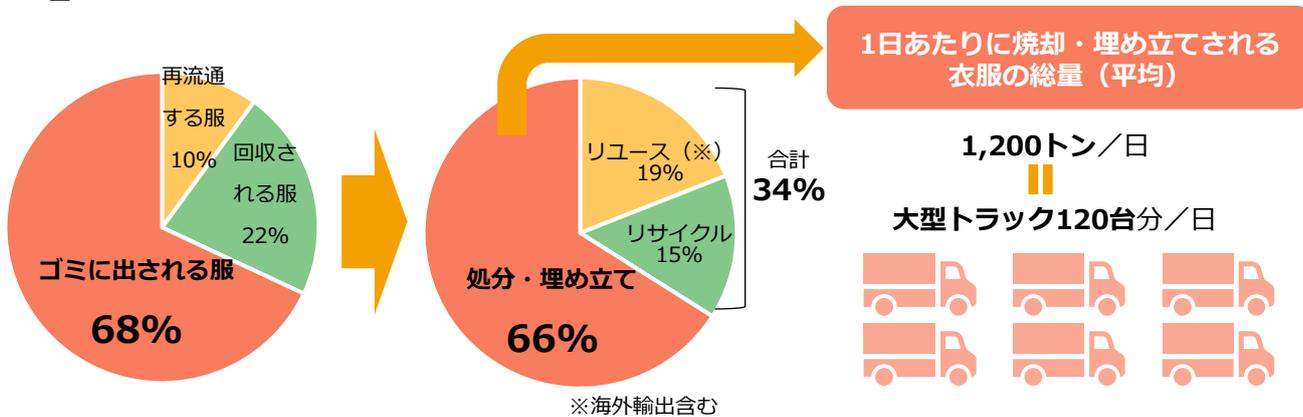
大量生産・大量消費・大量廃棄が問題となっているファッション業界について、私たちが手放した服がどのような道をたどるのかみてみます。

まず、服を手放す方法としては古着として売却、資源として回収してもらう、ゴミとして廃棄するなどの方法がありますが、可燃ゴミ・不燃ゴミとして廃棄される比率が7割近くとなっています。その後、古着として再流通するリユースや資源回収後に再資源化されるリサイクルの比率は34%にとどまり、残りの66%は焼却処分・埋め立てされているのが現状です（図1）。

### 循環型モデルのファッションに向けて

リユースやリサイクルを増やして循環型のモデルに移行するには企業・消費者共に取り組みを進める必要があります。企業の取り組みとしては、生産工程で廃棄される繊維の削減、生活者に長く着てもらうための技術開発、再利用しやすい素材やデザインでの商品開発、回収しやすい仕組みづくりやアップサイクル（元の製品に新たな付加価値を持たせて別の製品として再生させること）、リペア（修繕）サービスの拡充などがあります。一方消費者としては、持っている服を長く大切に使用すること、古着やシェアリングサービスの活用を行う、手放す際はゴミではなく回収に出すなどの取り組みが可能です（表1）。

図1\_衣服の再流通・再資源化・処分状況（2022年度）



（出所）環境省HP「SUSTAINABLE FASHION」より大和アセット作成

表1\_リユース・リサイクルに向けた取り組み事例

取組み分野	企業	取組み
回収	ファーストリテイリング	ユニクロなど自社ブランドの衣服を店舗で回収。
回収	H&M	自社ブランド以外も含めたすべての衣服を店舗で回収。
回収	伊藤忠商事	ECOMMIT※と業務提携し、繊維製品の回収サービス「Wear to Fashion」を企業や自治体との協業のもと展開。 ※資源循環型ビジネスを展開。イオンモール、PARCO、ルミネなどの商業施設に回収ボックスを設置。
アップサイクル	アディダス	プラスチックごみから生成されるリサイクル素材を使用した製品を生産。
リサイクル技術	帝人フロンティア	ポリエステル衣料品からポリウレタン弾性繊維を除去する技術を開発。複合素材のリサイクルを効率化。

（出所）各社資料より大和アセット作成

## 最近のESG関連ニュース

日付	ニュース
2024/6/4	環境情報開示を推進する国際非政府組織（NGO）のCDPIは、2024年度の新たな開示プラットフォームをリリースしたと発表。
2024/6/11	WEF（世界経済フォーラム）は、各国のジェンダー不平等状況を分析した「世界ジェンダー・ギャップ報告書（Global Gender Gap Report）2024」を発表。
2024/6/18	欧州監督機構（ESAs）は、持続可能な金融開示規則（SFDR）の評価に関する共同意見を発表。
2024/6/21	日本政府は、新しい資本主義のグランドデザイン実行計画改訂版を閣議決定。GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）・共済組合連合会等がインパクトを含む非財務的要素を考慮することは、「他事考慮」に当たらないと記述。

※各機関HP等から大和アセット作成

## MSCI指数の推移

MSCI ACWI ESG Leaders 指数とMSCI ACWIのパフォーマンスを比較すると、5年間でみるとMSCI ACWI ESG Leaders 指数がやや上回るパフォーマンスとなっています。

### MSCI ACWI ESG Leaders 指数推移（月次）

（2014年10月末～ 2024年6月末）



※2014年10月末を100として指数化、配当込み円ベース。  
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

### リターン・リスク（月次）

（2024年6月末時点）

年率リターン	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	(参考) MSCI ACWI
1年	34.5%	32.6%
3年	19.9%	19.5%
5年	20.6%	20.0%

年率リスク	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	(参考) MSCI ACWI
1年	12.1%	11.4%
3年	15.4%	14.8%
5年	16.3%	16.4%

### 投資効率（リターン/リスク）

	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	(参考) MSCI ACWI
2014年10月末～2024年6月末	0.86	0.84

（出所）ブルームバーグ

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。